

キルギス日本語教育実習報告会

本学の大学院生2名が、幾田伸司先生はじめ現地の先生方のご指導のもと、キルギス共和国のビシュケク人文大学で日本語教育実習を行いました。3週間の実習を終え帰国し、その報告会を行いました。

1. 日時 平成28年4月25日(月) 午後6時15分より
2. 場所 鳴門教育大学 講義棟B 201 教室
3. 報告者 知念美和(言語系コース(国語) M2)
吉川巧也(言語系コース(国語) M2)
4. 参加者 学生18名 留学生6名 鳴門教育大学教員4名 現職教員1名
5. 報告内容

報告内容	発表者	概要
キルギス共和国について	吉川	<ul style="list-style-type: none">・どのような国か・実習校の紹介・文化紹介(街並み・交通手段・食文化・観光地・衣類・祝日・ホームステイ)
日本語教育関連の活動について	知念	<ul style="list-style-type: none">・日本語教育実習・日本センター訪問・在外公館広報事業・日本語弁論大会・日本語教育セミナー

発表には、Skypeにてビシュケク人文大学の西條結人先生にもご参加いただきました。質疑応答の時間には、私たちだけでは足りない部分を適宜補足し説明して下さいました。

6. 報告会の様子



発表の様子です。キルギスの伝統的な装飾品を身に付けています。
右の写真は、実際にキルギスの通貨を紹介している場面です。



発表のスライド画面です。
右の写真は、質疑応答の様子です。
キルギスの学生のこと、私たちの渡航の影響など、様々な質問や意見がありました。

7. 報告会を終えて

キルギス共和国への渡航の一番の目的は、日本語教育実習を行うことでした。現地では、教育実習以外にも、私たちが歓迎しキルギスの文化を知ってもらおうと、様々な文化体験ツアーを企画していただきました。渡航前は長いと感じていた3週間も、始まってからはあっという間でした。報告会を行うことで、改めて教育実習の省察や、現地での文化体験の振り返りができたと思います。参加して下さった方からの質問ややりとりの中で、今一度考えさせられたことも多くありました。教育に携わるものとして、今後もこの経験を生かしていきたいと思います。

参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

(文責 知念美和 (言語系コース (国語))